

2019年度

予算のお知らせ

2019年2月14日開催の組合会において、当健康保険組合の2019年度予算が可決されました。今年度は、一般勘定で健診制度変更に伴う措置を保健事業費に盛り込みました。また、介護勘定では、今年度も介護納付金増加に対応した介護保険料率の改定等を盛り込んでいます。

収入支出予算額

健康保険 108億1,326万円

介護保険 11億3,041万円

保険料率

	被保険者	事業主	合計
健康保険	2.5%	5.0%	7.5%
介護保険※	0.7%	0.7%	1.4%

※介護保険料率は2019年3月に1.0%から1.4%に変更されました。

一般勘定 >>

主な収入

●保険料収入

健康保険組合の収入のほとんどは、皆さまからの保険料です。今年度は前年比1.5億円増の92.5億円を予定しています。

主な支出

●保険給付費

お医者さんにかかったときの自己負担(2～3割)以外の医療費は、保険給付費として健康保険組合が負担をしています。出産や傷病時の各種手当金なども保険給付費に含まれます。

今年度は10月からの消費税増税にともなう診療報酬改定による影響と、高齢化や高額薬剤・医療技術の進歩による医療費増を考慮して、保険給付費は44億円を見込んでいます。

●保健事業費

皆さまの健康づくりのための費用で、約10億円を見込みました。具体的には定期健診、人間ドック等の各種

健康診査、特定保健指導やKA・RA・DAいきいきプロジェクトの運営費用などが含まれます。事業主連携を図りながら、効果的な保健事業を行っていきます。

●各種納付金

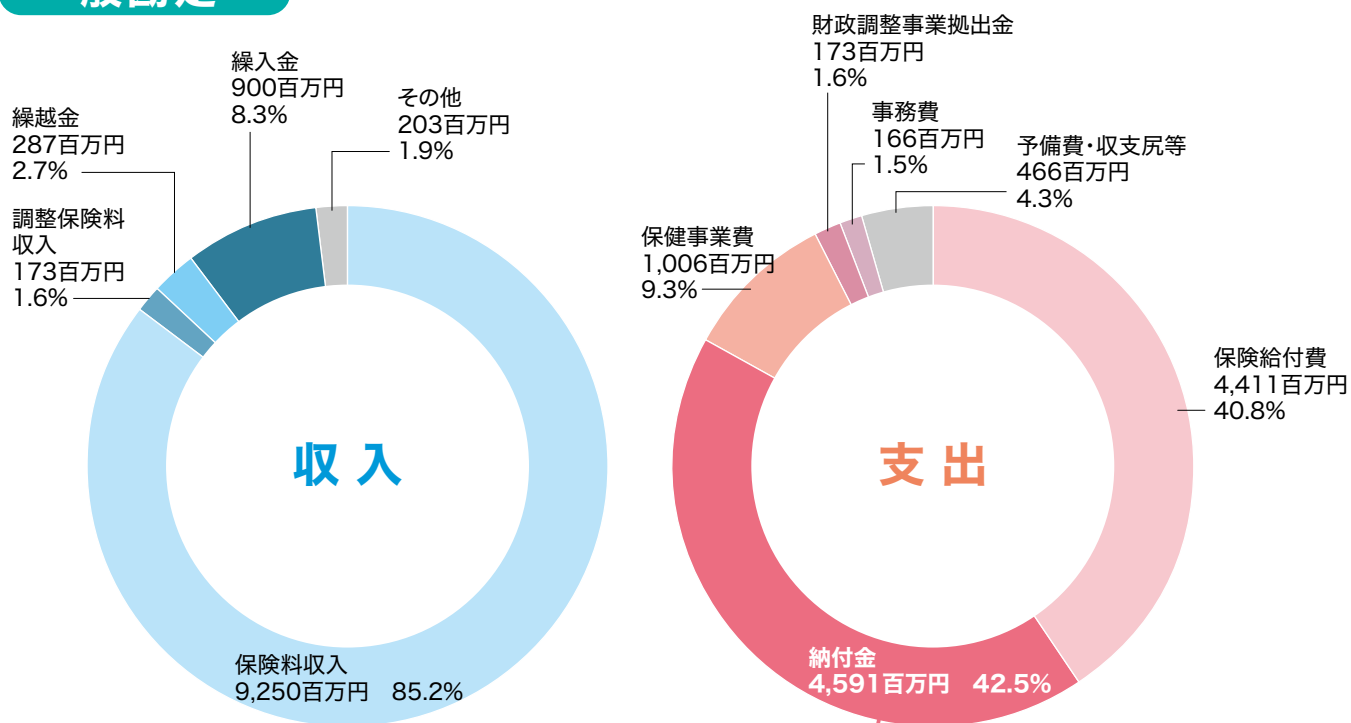
皆さまの保険料の4割以上が、高齢者のための医療費として国に拠出されており、保険給付費を上回る状況が続いています。今年度は65歳以上の前期高齢者納付金として19.1億円、75歳以上の後期高齢者支援金として26.8億円、合計で45.9億円支出いたします。

介護勘定 >>

健康保険組合では、市区町村に代わり、40歳以上の人の介護保険料を徴収しています。介護納付金の計算方法についても、総報酬割が順次導入されており、負担の増加に合わせて介護保険料率を変更しています。今年度は前年度の1.0%から1.4%に変更されました。(今年度は3/4が総報酬割、1/4が加入者割となっています。)

2019年度の予算をグラフでみると…

一般勘定 >>



高齢者の医療費のために
4割以上支出しています



支出を1人当たりでみると…



介護勘定 >>

